

めざそう 男女がともに歩むまち

性別に関わらず、一人一人が輝ける社会を目指す福津市。このコーナーでは、市や市民の「男女がともに歩む」取り組みを紹介します。

市男女共同参画推進室 ☎43・8116



▲命の大切さを生徒に語る益永さん

妊娠出産講座を開催しました
毎年、市内の中学生を対象に妊娠・出産の正しい知識を学習する授業を行っています。中学生が将来家庭を持ったときに、お互いの性を尊重し、思いやりを持ちながら夫婦関係を作ることができるようになることや、相手の理解と同意のもとで家族計画を立てていくための授業です。講師のじいじの助産院の益永孝子さんは、若者であるがゆえに、ネットなどで氾濫している誤った知識と混同するこ

とがないように指導するとともに、信頼できる大人に相談することの大切さも伝えていきます。授業の中で、益永さんはまず、プライベートゾーンの話を話しました。プライベートゾーンとは、水着で隠れるところと口です。その部分は、むやみに他人に見せたり触らせたりしてはいけない大事な部分です。赤ちゃんが誕生するまでの話では、黒い紙を一人一人に渡し、のぞいてみると卵子の大きさの小さな穴が開いていて、卵子の大きさを知ることができました。

また、妊娠するのは簡単ではなく、何億分の1の確率でしか妊娠できないということ、つわりや疲れやすさなど、妊娠して体験する体の変化や陣痛のことも分かりやすく話してくれました。授業後のアンケートで「命にはいろいろな人の協力や思いが込められている」「命を大切にしようと思った」「自分は色んな人に助けられて成長してきたんだ」などの感想がありました。今後も「男女がともに歩むまちづくり」を推進していきます。ご理解とご協力をお願いします。

豊かな人生ってなんだろう!? 福津ライフ

No.11 青谷 喜美江さん



福津市に関わる多様な人たちがつながり合い、新たな可能性を創り出す「キッカケラボ」。私たちが目指す「豊かな人生」を現在進行形で送っているかたに、そこに至る“きっかけ”を伺いました。市地域コミュニティ課 ☎62・5017

青谷ファームのイチゴづくりは、青谷さんの先々代の曾祖父が、静岡の石垣イチゴの苗を譲り受けたことに始まり、100年を超える歴史があります。当時のイチゴは今よりも貴重で、大切に桐箱に入れて出荷したそうです。

そんな青谷家に嫁いできた喜美江さん。当時はイチゴづくりがとても嫌でした。今よりも過酷な労働の上、イチゴのことばかり考えている夫に「私とイチゴ、どっちが大事なの」と叫んでしまうほどでした。それでも頑張ろうという気持ちが生まれたきっかけは、子どもが小学校に入ったころにありました。

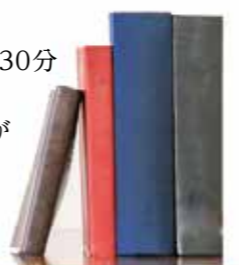
イチゴ狩りと題し、小学生が学年を挙げて畑に来てくれたときに、うれしそうにイチゴを手にする子どもたちの満面の笑顔を見て「日頃の苦勞が、全部報われた」と青谷さんは言います。今でも、保育園児の受け入れなどを続けています。「イチゴを渡して嫌な顔をする人はおらんもんね」と、みんなに笑顔を届けるため、青谷さんは今日もおいしいイチゴを育てています。



3月のイベント案内

- おはなし会**
お日さまのうたサークル
9日(土)午後3時~午後3時30分
木曜おはなし会0・1・2 (2歳児以下)
14日(木)午前11時~午前11時20分
ふくつ語りの会
16日(土)午後2時~午後2時30分 幼児~小学生(低学年)、
午後2時40分~午後3時10分 小学生~大人
福間津屋崎子ども劇場おはなしの国
21日(木)午前11時~午前11時30分
日曜おはなし会 (3歳児以上)
毎週日曜日 午後3時~午後3時30分

※状況によって開催を取りやめる場合があります。



日=日時、日程 場=場所 対=対象 定=定員 演=講師 託=託児 問=受付、問い合わせ

乳幼児の子育て わわわ

①おもちゃ病院

大好きなおもちゃや、子どもの頃に遊んだ思い出の詰まったおもちゃで、壊れてしまったおもちゃはありませんか。おもちゃドクターが診察して修理をします。
3月15日(金)午後1時~午後3時 ※毎月第3金曜日に実施
場市子育て支援センター「なかよし」¥1つにつき100円 ※部品代が別途必要

②ぴよぴよタイム

親子でわらべうた遊びをします。絵本の読み聞かせもあります。参加者同士で子育てについての話し合いをします。希望者はお子さんの身長体重測定をします。
0歳は4月23日(火)、1歳は4月30日(火)の午前10時30分~午前11時30分 定先着10組 ※要予約
場市子育て支援センター「なかよし」

③あいあいタイム

トンネルや、マット、積み木、フープなどで室内にサーキットのコースを作ります。跳んだり、くぐったり、バランスをとって歩いたりして、体を思い切り動かして遊ぶことができます。
4月25日(木)午前10時30分~午前11時30分
場市子育て支援センター「なかよし」 定先着10組 ※要予約
②③の受付開始日 3月15日(金)
①②③の問市子育て支援センター「なかよし」☎35・8382

市は、乳幼児の子育てを応援しています。みんなで手を取り合って健やかな子どもを育てましょう。こどもの国ホームページでは市内の子育て施設やサービスなどを紹介しています。
問市子育て支援センター「なかよし」☎35・8382



▲絵本の読み聞かせを楽しむ参加者

多胎児の集い「ぽっぽタイム」

子育て支援センターでは年に6回「ぽっぽタイム」を行っています。内容はわらべうた遊び、絵本の読み聞かせ、保護者同士のトークタイムなどです。令和5年11月の「ぽっぽタイム」は夫婦で参加する方もいました。トークタイムでは食事の質問が出て、「自分の子はせいろで野菜を蒸すとたくさん食べますよ」などのアイデアを話す参加者もいました。多胎児の親ならではの悩みも、話すことで解決することもあるかもしれません。「ぽっぽタイム」に参加して多胎児の子育てについて話してみませんか。

DVD

「素晴らしき哉、人生」フランク・キャプラ監督 アイ・ヴィー・シー 全てが裏目に出て絶望し、自殺を図るジョージ。そこで出会った老天使に、自分の人生の意義を見せてもらい、生きる喜びを取り戻します。

小学生向け

「ハグくまさん」ニコラス・オールランド作 落合恵子訳 クレヨンハウス 誰かに会おうと、いつも抱きしめてしまおうハグくまさん。ある日、大好きな木を切り倒そうとする男に出会い、ハグくまさんは考えます。

中学・高校生向け

「ベロニカは死ぬことにした」パウロ・コエリョ著 角川書店 自殺を図りました。精神病院で意識を取り戻したとき、後遺症で余命はほとんどないと告げられます。

一般書

「笑って生ききる」瀬戸内寂聴/著 中央公論新社 「自分を自分が認めてあげる」「悩み迷うのは生きていく証」「幸せは笑顔に集まる」「幸せになるための努力を」など希望の言葉を集めました。

図書館の今月のおすすめ

運命の一冊

一冊の本が、ひよっとしたらあなたの人生を変えるかもしれません。紹介している本以外にも、約20万冊の本がある市立図書館に、運命の一冊を見つけに来ませんか。
問市立図書館 ☎42・8000

きつてステキな本に出会える……はず